

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077500132
法人名	有限会社ひがし
事業所名	グループホーム三春
所在地	福岡県うきは市浮羽町三春 1982-1 (電話) 0943-77-1300

評価機関名	福岡県社会福祉協議会
所在地	福岡県春日市原町3-1-7
訪問調査日	H21年 10月 16日
評価確定日	H21年 12月 15日

【情報提供票より】 (平成21年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 12月 25日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,400 円	その他の経費(月額)	9,156 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(100,000 円) 無	有りの場合償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要 (平成21年9月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	1 名	要介護4	8 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低	78 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	筑後川温泉病院 上田内科胃腸科医院 中村歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所の全居室からは、眼前に広がる耳納連山・耶馬溪が臨むことができ、自然環境に恵まれた立地にある。理念の「住み慣れた地域での安心した暮らし」、「地域生活の継続を支えるための柔軟な支援」に基づき、事業所で開催する夏祭り・敬老会等の行事に地域のボランティアや家族の協力があり、信頼関係を築きながら多数の参加を得ている。職員は利用者が日々生き甲斐を持って楽しく過ごせるよう、定期的に地域同業者と交流を図り、サービスの質の向上に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し「災害対策」は非常用食料等備品を整備し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	全職員は、自己評価の意義・目的を理解している。自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議を定期的に開催し、利用者の日々の暮らしぶりや外部評価の結果報告等、事業所の状況報告をしている。委員から地域とのつきあいについて意見が出され、月1回事業所便りを発行して積極的に交流することに努める等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	月1回、地域に事業所便りを配布している。近隣の小学校や中学校と交流があり、ハンドマッサージ等、ボランティアの訪問もある。地域行事へ参加し、また事業所主催の夏祭りに地域住民の参加がある等、地域と交流することに積極的に努めている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域に密着して利用者が家庭的な環境のなかで日常生活をおくり・・・」と、事業所独自の理念に地域密着型サービスの視点が含まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝礼時に理念を唱和し、理念の実践に向けて、言葉かけや対応等具体的なケアについて意見の統一をし、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	月1回、地域に事業所便りを配布している。近隣の小学校や中学校と交流があり、ハンドマッサージ等、ボランティアの訪問もある。地域行事へ参加し、また事業所主催の夏祭りに地域住民の参加がある等、地域と交流することに積極的に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員は、自己評価の意義や目的を理解している。自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し「災害対策」は非常用食料や備品を整備する等評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、利用者の日々の暮らしぶりや外部評価の結果報告等、事業所の状況報告をしている。委員から地域とのつきあいについて意見が出され、月1回事業所便りを発行して積極的に交流することに努める等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、実情やケアサービスの取り組み等について行政担当者へ日常的に報告や相談をし、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	一部の職員が制度について外部研修を受講し、他職員へ伝達し周知している。テキスト・パンフレットがある。また、利用者家族には、利用開始時に制度の説明をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、事業所便りを発行し、併せて担当職員作成の便りも郵送している。家族来訪時に状況を報告し、緊急時は電話で対応している。金銭管理については、月1回、金銭出納帳等を明示し、家族等の署名・押印がある。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。来訪時に家族等の意見、不満、苦情を聴取し、金銭管理や利用者の日常ケアについて見直す等、意見を運営に反映させるよう努めている。また、家族等へ利用開始時に事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口を説明している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、日常的に職員とコミュニケーションを図る等し、異動や離職を抑える努力をしている。職員が代わる時は、引き継ぎ期間を十分に取り、ダメージを防ぐ配慮をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用にあたっては公平性を持ち、性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。事業所で働く職員についても、勤務時間や希望を尊重し、誰もが安心して働ける職場環境を目指している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>法人代表者及び管理者は、全職員に利用者に対する人権の尊重を重んじることを日常的に話している。人権に関する外部研修は、一部の職員が受講している。テキスト・パンフレットはある。</p>	○	<p>全職員の内部または外部研修への参加の機会を設けて、人権教育を実施してほしい。また研修記録を残してほしい。</p>
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、全職員が日常的に学ぶことを推進し、職員が希望する研修を受ける機会を確保している。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者ネットワークに加入し、職員は定期的に開催される交流会に参加している。ケアサービス、記録の仕方等を学び、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に事業所の見学や昼夜の体験入所、職員は自宅・病院訪問等を行い、利用者と馴染みの関係を築くよう家族等と相談しながら工夫している。やむを得ず即利用の場合は、声かけを多くする等している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と一緒に、料理や掃除、洗濯物たたみ等をしながら、職員が知らない生活の技や季節行事の決まりごと、昔の歌を覚えてもらう場面がある。共に過ごしながらか、お互い学び支えあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日々の関わりの中で、利用者に声をかけ、意向の把握に努めている。利用者の言葉や表情、行動等からも真意を推しはかたり、それとなく確認するようにしている。意思疎通が困難な場合は、家族等から情報を得るようにし、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、職員の気づきや意見、アイデアを取り入れ、本人本位の介護計画を作成している。本人及び家族の署名、押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月の定例会でケアにつき話し合って検討し、3ヶ月または6ヶ月に1回、見直している。利用者の状態変化時には状況に応じて見直し、家族へその都度報告している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際には見舞いに行き、家族、医療関係者と連携し、早期退院を図っている。通院送迎については家族と話し合い、柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望や意向を大切にし、今までのかかりつけ医や事業所の協力医での受診を支援している。情報の伝達方法については、家族等と話し合って合意し、24時間適切な医療を受けられるように支援している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医や家族と話し合っているが、全員での共有にはいたっていない。	○	重度化や終末期の方針について、できるだけ早い段階から、事業所・家族・本人・医療関係者・全職員で話し合い、家族等の納得の上で方針を全員で共有してほしい。
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者一人ひとりのプライバシーを損ねることのないよう言葉かけや対応に配慮している。個人情報の取り扱いについては、定例会時に話し合い、意識向上を図っている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にし、庭での昼食、カラオケ、折り紙等、その日その時の希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。また、同じ物を同じテーブルで会話を楽しみつつ、さりげなく介助しながら食べている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの希望する時間で、入浴を楽しめるように支援している。現在、入浴拒否する利用者はいない。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>新聞取り、洗濯物干し、掃除、料理、芋掘り、リハビリ体操、踊り等、利用者一人ひとりのできることや得意なことを把握し、役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>		
28	63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気や体調に配慮しながら一人ひとりの希望にそって、散歩、買い物、季節花見、ドライブ等、戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室や玄関は施錠していない。全職員は鍵をかけることの弊害を理解している。職員は利用者の外出傾向等を把握しており、近所の協力を得て見守り等を行っている。</p>		
30	73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成している。年2回、消防署及び地域の人々の協力を得て、避難訓練を実施している。非常用食料、飲料水、備品を準備している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が全利用者分ある。献立は利用者の嗜好を考慮し、職員が作成している。</p>	○	<p>最低年1回は、行政の保健師や食審会と連携をとり、専門的なチェックやアドバイスを受け、利用者の健康管理に努めてほしい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間に利用者作成の折鶴、花や写真を飾る等し、家庭的雰囲気配慮している。利用者にとって不快にならないよう、テレビの音量に配慮し、家庭的雰囲気で居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、利用者の好みに応じて和・洋室が選択できる。机、椅子、整理筆筒、テレビ、小物、カレンダー、家族写真等、家族と相談しながら飾り、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

※ は、重点項目。